

## \* ご視察に際してのお願い \*

当飯館村を行政視察の候補地としてご検討いただき光栄に存じます。

受入れにあたり、要望内容の説明担当課とスケジュール等を調整させていただきますので、別紙「行政視察打合せ書」にご記入のうえ、メールかFAXにて返信ください。

こちらで調整した後、**受入れ担当課より**電話等にてご連絡を差し上げ、詳細な打合せをさせていただきます。なお、土・日の受入れは対応しておりません。当方の都合でお引き受けできない場合もございますので予め御承知ください。

なお、視察負担金として、**1人当たり500円のご負担をお願いしております**（資料代含む）ので、ご了承願います。

また、受入れにあたり、本村内で**宿泊あるいは昼食**について、日程にお組み入れいただきたく、よろしく願いいたします。

### 【視察申し込み手続き】

- \* 「行政視察打合わせ書」を、メールかFAXでご返送ください。
- \* 「行政視察打合せ書」の『視察の目的内容』により当村の説明者を調整し日程を決めさせていただきます。  
（電話で日程調整の場合、予約は完了していませんのでご注意ください）

### 【視察依頼文】

- \* 打ち合わせで日程が決まりましたら、速やかに「飯館村長」又は「飯館村議会議長」宛、公文書を送付願います。  
（〒960-1892 福島県相馬郡飯館村伊丹沢字伊丹沢580-1 飯館村役場）

### 【説明会場及び説明者】

- \* 基本的に、ご説明は役場会議室等の公共施設で行うことにしておりますが、研修内容によっては各施設を研修会場とさせていただくこともあります。  
NPOや行政区から説明者の同席、民間施設の視察（農場、企業訪問等）を希望される場合、応分の謝礼（5,000円程度と想定）をお願いすることもありますので、事前にご相談ください。

### 【宿泊・昼食等の予約】

- \* 宿泊体験館「きこり」の宿泊予約は、視察日程打合わせ後、施設へ直接仮予約をお願いいたします。また、村内でのお食事各店へ直接予約ください。  
ご宿泊とお食事等 宿泊体験館「きこり」 電話(0244)42-1012 FAX0244-42-1019  
お食事処は、宿泊体験館「きこり」内レストラン（電話等は同上）のほか、各飲食店や、こだわりの農家レストランもあります。詳しくは、飯館村のホームページ <http://www.vill.iitate.fukushima.jp/> 「村のうまいもん」をご覧ください。

【飯館村までの交通ご案内】

東北自動車道（福島西、福島飯坂I・C）・国道4号線を利用

国道114号線を川俣町へ。川俣町から県道12号線（原町川俣線）を南相馬市方面へ走り飯館村へ。

（福島西I・Cから国道114号線を経て来村する場合）・・福島市から距離約40km

大型バス利用所要時間約1時間

常磐自動車道（富岡I・C）・国道6号線を利用

国道6号線を南相馬市へ、南相馬市から県道12号線（原町川俣線）を川俣町方面へ走り飯館村へ。

（国道6号線で原町市を経て来村する場合）・・・・南相馬市から距離約25km

大型バス利用所要時間約40分

お問い合わせ先 〒960-1892 福島相馬郡飯館村伊丹沢字伊丹沢580-1  
飯館村役場総務課企画係 視察受け入れ担当 です。  
TEL 0244-42-1613  
FAX 0244-42-1601  
ホームページ <http://www.vill.iitate.fukushima.jp>  
Eメール [kikaku@vill.iitate.fukushima.jp](mailto:kikaku@vill.iitate.fukushima.jp)

大いなる田舎 まθειライフ いいたて

（第5次総合振興計画 基本目標）

## 【視察関連施設】

役場庁舎 村のほぼ中心地に平成6年1月新築移転。特産の御影石を効果的に配した和風2階建の特色ある庁舎。周囲には石の彫刻作品群を配置したセンターパーク美土里（みどり）やビレッジハウス、飯館中学校、いいたてスポーツ公園の各施設があり、本村の「センター地区」として村民に親しまれている。

ビレッジハウス美園杜（みいと） 平成7年1月オープン。全国で初めての村営本屋さん「ほんの森いいたて」を開設、「立ち読み・座り読みOK」の気軽さでにぎわっている。村民のくつろぎ空間として誰でも自由に利用できるコミュニティルームもある。  
「宿泊体験館きこり」 平成6年7月オープン（最大宿泊収容数48人）。

飯館村の交流拠点。「村民の森あいの沢」の緑豊かな公園内に位置し、家族やグループ、カップルで、宿泊や食事に、癒しの空間として、さまざまに利用されている。特産「飯館牛」の「本格ステーキ」や「牛にぎり」が好評。

平成17年4月に、天然鉱石使用の「イオンの森：あいらぶ湯」がオープン、マイナスイオンが体験できる「イオラ」はリピーターで賑わっている。

村民の森あいの沢 園内には「オートキャンプ場」が整備され、シーズンともなると全国から大勢の若者や家族連れが、満天の星や自然を満喫していく。

近くには茅葺きの「民家園」が移築され、また、愛にちなんだ俳句を全国から募集した「あいの句碑」250句の散策路もある。

「あいの浮橋」を渡ると「宿泊体験館きこり」につながる。

もりの駅まごころ 平成19年11月オープン。地元産の手打ち高原そば、米粉パンとおいしい話題がいっぱいの直売所。新鮮な野菜、花、農産物加工品など多品種を販売している。飯館村の交流先北海道や沖縄の特産品も販売している。

飯館村振興公社 昭和63年に飯館牛をはじめとする村の産業振興を図るため設立された。現在300頭あまりを肥育し、技術の実証を行っている。平成7年4月にETセンターを開所、受精卵移植による飯館牛の改良と技術の普及に取り組んでいる。

いいたてミートプラザ 平成5年4月オープン。JAの「飯館牛」直売店。ここで部位ごとにカットされた牛肉「飯館牛」が直接消費者に提供される。飯館牛認証店制度により認定を受けた販売店・ステーキレストラン等へ供給している。

飯館村公民館 平成元年から5年間、村内女性対象の海外派遣「若妻の翼」事業が全国的に有名。芸術鑑賞奨励事業などユニークな事業は生涯学習・文化活動の拠点。寄贈者の名前が入った「白いピアノ」が大ホールに置かれている。

飯樋小学校 子どもの成長に合わせた教室、隠れ家のある教室、職員室のない学校。校庭拡張で伐採を余儀なくされた銀杏の巨木を「銘木」インテリアに。平成14年度改修工事終了。

いいたてホーム 平成9年10月特養30床、ショート10床で開所。その後2度増床し現在特養80床、ショート20床。平成20年度30床増床工事中。併せて地域資源が循環する熱エネルギー供給システムとしてチップボイラーを導入する。

# 行政視察打合せ書

(福島県飯舘村役場総務課企画係)

当方への最初の問い合わせ課は何課でしたか					
視察日程 予 定	第 1 案	期 日 時 間 説明会場	月 日 ( 曜日 ) 午前・午後 : ~ 午前・午後 : 予定施設 ( 役場 )		
	第 2 案	期 日 時 間 説明会場	月 日 ( 曜日 ) 午前・午後 : ~ 午前・午後 : 予定施設 ( 役場 )		
	昼食場所			予 約	/ 済 ・未済
	宿泊予定地	月 日 ( )			/ 済 ・未済
	交通手段	大型バス・マイクロバス・乗用車・その他 ( )			
視察団の みなさん	団 体 名 代 表 者 名 ( 視 察 参 加 の 人 数 )	合計 人 ( 男性 人・女性 人 )			
	住 所				
連絡先 担当者	所属団体名				
	担当者氏名	( 課名等 : )			
	担当者メール				
	担当者TEL		FAX		
視察の目的 希望内容等	視察の目的 希望内容等	( 例・やるきつながらりプランについて説明してほしい、等々 )			
	見学施設 名 等	もりの駅、あいの句碑、ほんの森、きこり、いいたてホーム その他 ( )			
視察前後の スケジュール					
負担了承 の確認	視察負担金 ( 資料等 ) として @ 5 0 0 円 × 参加人数 人 = 円を当日持参納入します。				
その他	特に、説明者 ( 講義等 ) の指名を希望するときは記入して下さい。ただし				
	都合により対応しかねる場合がございます。 ( )				

当方 処理 欄	受 付 者	受入担当課	関係課合議	
	月 日 /	あいさつ対応者	・ 村長 ( 代理・副村長 ) ・ _____ 課長	
	氏 名	説明者	・ 村長 ・ _____ 課長 ・ 担当 _____	
	受入担当課の業務		説明者・関係課調整、相手方への連絡をお願いします。	
	相手方へ回答日	月 日 ( 相手方氏名 )		

本書をご記入のうえ返送ください。